

エスプラネードライトフロアブル

版番号 1/J
102000025126

1/10

改訂日: 2022/08/01

印刷日: 2022/08/01

1. 化学品及び会社情報

1.1 製品情報

製品の名称 エスプラネードライトフロアブル

製品コード (UVP) 80193424, 85850822

1.2 推奨用途及び使用上の制限

使用 除草剤

使用上の制限 制限については、製品ラベルを参照してください。

1.3 安全データシート作成者

供給者の会社名称・住所 エンバイロサイエンスジャパン
株式会社
東京都千代田区大手町一丁目6番1号 大手町ビル2階

電話番号 03 (6841) 3843

ファクシミリ番号

担当部門 エンバイロサイエンスジャパン株式会社 QHSE部

1.4 緊急時の連絡先

グローバルインシデント対応 +1 (760) 476-3964 (Company 3E for Bayer AG, Crop Science Division)
ホットライン (24時間対応)

2. 危険有害性の要約

2.1 化学品のGHS分類

JIS Z 7253 / GHS分類マニュアル（改訂6版）による分類

水生環境有害性 短期（急性）：区分1
H400 水生生物に非常に強い毒性

水生環境有害性 長期（慢性）：区分1
H410 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

2.2 GHSラベル要素

JIS Z 7253 / GHS分類マニュアル（改訂6版）による表示

供給/使用のための危険有害性の表示が必要である。

エスプラネードライトフロアブル

版番号 1/J
102000025126

2/10

改訂日: 2022/08/01

印刷日: 2022/08/01



注意喚起語: 警告

危険有害性情報

H410 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

注意書き

P273 環境への放出を避けること。

P391 漏出物を回収すること。

P501 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

2.3 他の危険有害性

言及されたもの以外に既知の追加の危険有害性はありません。

3. 組成、成分情報

3.2 化学物質・混合物の区別: 化学物質

化学名又は一般名

懸濁剤 (= フロアブル剤) (SC)

Indaziflam 75 g/l

危険有害成分

一般名	化学名	CAS RN / 官報公示整理番号(安衛 法)	濃度又は濃 度範囲 [%]
インダジフラム	N-[(1R, 2S)-2, 3-ジヒドロ -2, 6-ジメチル-1H-インデ ン-1-イル]-6-[(1R)-1-フル オロエチル]-1, 3, 5-トリ アジン-2, 4-ジアミン	950782-86-2 8-(3)-1353	7.4

詳細情報

インダジフラム	950782-86-2	M-ファクター: 10, 000 (急性), 1, 000 (慢性)
---------	-------------	------------------------------------

エスプラネードライトフロアブル

版番号 1/J
102000025126

3/10

改訂日: 2022/08/01

印刷日: 2022/08/01

4. 応急措置

4.1 必要な応急手当

一般的アドバイス

日本中毒情報センターや医師に電話をする場合、または治療を受ける場合は、できれば製品の容器またはラベルを手元に用意すること。

吸入した場合

新鮮な空気のある場所に移動する。患者を暖かく安静にしておく。直ちに医師または日本中毒情報センターに連絡する。

皮膚に付着した場合

直ちに汚染された衣服と靴を脱ぐ。直ちに最低15分間は多量の水で洗い流す。直ちに医師または日本中毒情報センターに連絡する。

眼に入った場合

眼を開いたまま15~20分水道水でゆっくりと優しく洗い流す。コンタクトレンズを装着している場合は、着用した状態で最初の5分間洗浄した後に取り外し、更に洗浄を続けること。直ちに医師または日本中毒情報センターに連絡する。

飲み込んだ場合

直ちに医師または日本中毒情報センターに連絡する。口をすすぎ、少しずつ水を飲む。毒物管理センターまたは医師からの指示を受けないでおう吐を誘引しない。意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。被災者を一人にしない。

4.2 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

症状

今日まで、症状は知られていない。

4.3 緊急治療及び必要とされる特別処置の指示

取り扱い

患者の状態に応じて適切な支持療法及び対症療法が推奨される。

5. 火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤

水噴霧、泡、二酸化炭素 (CO2)、粉末消火剤

使ってはならない消火剤

大型棒状の水

5.2 特有の危険有害性

火災の際には危険なガスが発生する。

5.3 消防士へのアドバイス

消火を行う者の保護

火災や爆発の場合は、煙霧を吸い込まない。火災時には、自給式呼吸器を着用する。

詳細情報

煙が出ないようにすること。風上の位置から消火活動を行うこと。火災時は水を噴霧して密閉容器を冷却すること。火災時には消火用水が排水溝ないし水路へ流出しないよう防止すること。

エスプラネードライトフロアブル

4/10

版番号 1/J
102000025126

改訂日: 2022/08/01
印刷日: 2022/08/01

6. 漏出時の措置

6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

注意事項 許可されていない人を遠ざけること。危険有害区域を隔離すること。漏出した製品や汚染された表面との接触を避けること。

6.2 環境に対する注意事項 水、地上水が存在する地域、または平均最高水位標の下の潮間帯に直接適用しないでください。機器の洗浄や機器の洗浄水を含む廃棄物の処理により、地表または地下の水を汚染しないでください。地表水、排水口、地下水に入らないようにすること。天候により流出したり飛散しないようにすること。使用区域からの飛散、流出は非適用作物に悪影響を及ぼす可能性がある。ラベルに記載されているとおりに本製品を使用してください。

6.3 封じ込め及び浄化の方法及び機材

除去方法 不活性の吸収材（例えば、砂、シリカゲル、酸性結合剤、汎用結合剤、おがくず）で吸収させる。製品を回収し、適切にラベルを貼って密閉した容器に移す。汚染された床や物を徹底的に清掃し、環境規制を遵守すること。

追加アドバイス 保護具を使用する。材料が誤ってこぼれた場合は、土壌、水路または廃水路に入らないようにしてください。製品が非適用作物にかからないようにすること。

6.4 参照すべき他の項目 安全な取り扱いに関する情報は第7項を参照すること。個人用保護具に関する情報は第8項を参照すること。廃棄物処理に関する情報は第13項を参照すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

7.1 安全な取扱いのための予防措置

安全取扱注意事項 適切な排気装置が設置されたエリアでのみ使用する。容器をこぼれないように取り扱うこと。

技術的対策 熱や発火源から遠ざける。

接触回避・衛生対策 取扱い後、食べたり、飲んだり、ガムを噛んだり、タバコを喫煙したり、トイレを使用したり、化粧品を使用する前に、石けんと水で徹底的に手を洗うこと。
本製品を取り扱った直後に個人用保護具（PPE）を取り外すこと。手袋は、はずす前に石けんと水できれいにする。汚れた衣服を直ちに脱がせ、洗濯し再使用すること。徹底的に洗浄し、きれいな衣服を着用すること。

7.2 配合禁忌等を踏まえた保管条件

エスプラネードライトフロアブル

5/10

版番号 1/J
102000025126改訂日: 2022/08/01
印刷日: 2022/08/01

安全な保管条件	乾燥した涼しい場所に保管するとともに、他の農薬、肥料、食料、飼料と一緒に保管することによる二次汚染を避ける。最初に入っていた容器を使って、子供が近づかないように、できれば鍵の掛かった保管場所に保管する。凍結から守る。
安全な容器包装材料	HDPE (高密度ポリエチレン)

8. ばく露防止及び保護措置

8.1 管理濃度

成分	CAS RN	管理濃度	更新日	基準
インダジフラム	950782-86-2	0.56 mg/m ³ (TWA)		OES BCS*

*OES BCS: Bayer AG クロップサイエンス部門内 "Occupational Exposure Standard"

8.2 曝露防止

保護具

通常の使用および取り扱い条件では、ラベルおよび/またはリーフレットを参照してください。それ以外の場合は、以下の推奨事項が適用されます

呼吸用保護具

呼吸用保護具を着用すること。
呼吸用保護具は、封じ込め及び/又は局所排気装置など、発生源からのばく露の軽減対策を取ったうえで短時間の活動の残留リスクを管理するために使用すること。装着及びメンテナンスに関しては製造元の説明書に従うこと。

手の保護具

耐薬品性ニトリルゴム手袋

眼、顔面の保護具

密着性の高い安全ゴーグル

皮膚及び身体の保護具

長袖シャツ、長ズボン、靴、靴下を着用すること。

一般的な保護措置

PPEのクリーニング/メンテナンスについては製造元の説明書に従うこと。洗濯方法の説明書がない場合は洗剤と温水/ぬるま湯を使用すること。
PPEは他の洗濯物とは別に保管・洗濯すること。

9. 物理的及び化学的性質

9.1 物理的及び化学的性質の基本情報

物理状態	液体
色	白色からベージュ色
臭い	特異臭
臭いのしきい(閾)値	データなし

エスプラネードライトフロアブル

版番号 1/J
102000025126

6/10

改訂日: 2022/08/01
印刷日: 2022/08/01

pH	5.0 - 8.0 (10 %) (23 ° C) (脱イオン水)
融点/凝固点	データなし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	データなし
引火点	データなし
可燃性	データなし
自然発火点	データなし
最低点火エネルギー	非該当
自己促進分解温度 (SADT)	データなし
爆発下限界及び爆発上限界/ 可燃限界 (上限値)	データなし
爆発下限界及び爆発上限界/ 可燃限界 (下限値)	データなし
蒸気圧	データなし
蒸発速度	データなし
相対ガス密度	データなし
相対密度	データなし
密度	1.01 g/cm ³ (20 ° C)
水に対する溶解度	可溶
n-オクタノール/水分配係数 (log 値)	インダジフラム: log Pow: 3.7 (20 ° C) (pH 7)
粘度	300 - 900 cps (25 ° C)
動粘性率	データなし
酸化特性	データなし
爆発性	非該当

10. 安定性及び反応性

- | | |
|----------------|-------------------------|
| 10.1 反応性 | 通常の状態では安定。 |
| 10.2 化学的安定性 | 推奨保管条件下では安定。 |
| 10.3 危険有害反応可能性 | 通常の使用条件において既知の危険な反応はない。 |

エスプラネードライトフロアブル

版番号 7/J
102000025126

7/10

改訂日: 2022/08/01

印刷日: 2022/08/01

- 10.4 避けるべき条件** 極端な温度と直射日光。
- 10.5 混触危険物質** 配合禁忌物質は知られていない。
- 10.6 危険有害な分解生成物** 通常の取扱い条件下では分解生成物はなし。

11. 有害性情報

11.1 毒性情報

- 急性毒性 (経口)** LD50 (ラット) > 5,000 mg/kg
試験は類似の製剤で実施。
- 急性毒性 (吸入)** LC50 (ラット) > 2.09 mg/l
ばく露時間: 4 h
液体エアロゾルの形で測定
最高濃度試験済み
- 急性毒性 (経皮)** LD50 (ラット) > 2,000 mg/kg
試験は類似の製剤で実施。
- 皮膚腐食性/刺激性** 皮膚 刺激性なし (ウサギ)
試験は類似の製剤で実施。
- 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性** 眼刺激性なし (ウサギ)
試験は類似の製剤で実施。
- 呼吸器感作性又は皮膚感作性** 呼吸器系:
データなし
皮膚: 皮膚感作性なし (モルモット)
OECD Test Guideline 406, Buehler test
試験は類似の製剤で実施。

特定標的臓器毒性 (単回ばく露)

インダジフラム: 経口投与により神経系に制御される臓器に障害を引き起こすことがある。

特定標的臓器毒性 (反復ばく露)

インダジフラムは、ラットおよびイヌの亜慢性試験における神経行動効果および/または神経病理学的変化を引き起こした。インダジフラム: 長期間または反復暴露により、臓器(神経系)に損傷を引き起こすことがある。

生殖細胞変異原性

インダジフラムは、in vitroおよびin vivoで変異原性または遺伝毒性を示さなかった。

発がん性

インダジフラム は、ラット及びマウスの試験において発がん性は認められなかった。

生殖毒性

エスプラネードライトフロアブル

版番号 1/J
102000025126

8/10

改訂日: 2022/08/01
印刷日: 2022/08/01

インダジフラムは、ラットの2世代の研究において主要な生殖毒性物質ではなかった。

発生毒性

インダジフラムは、ラットおよびウサギにおいて発生毒性を引き起こさなかった。

誤えん有害性

入手可能なデータに基づく分類基準は満たされない。

12. 環境影響情報

12.1 生態毒性

魚毒性

LC50 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)) 0.572 mg/l
ばく露時間: 96 h

LC50 (Cyprinus carpio (コイ)) 4.74 mg/l
ばく露時間: 96 h
試験は類似の製剤で実施。

水生無脊椎動物に対する毒性

EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)) > 9.88 mg/l
ばく露時間: 48 h

水生植物に対する毒性

ErC50 (藻類) 1.35 mg/l
成長速度; ばく露時間: 72 h
試験は類似の製剤で実施。

IC50 (Raphidocelis subcapitata (淡水性緑藻)) 0.134 mg/l
成長速度; ばく露時間: 96 h

EC50 (Lemna gibba (イボウキクサ)) 72,8 ng/l
成長速度; ばく露時間: 7 d

EC10 (Lemna gibba (イボウキクサ)) 60 ng/l
成長速度; ばく露時間: 7 d

NOEC (Lemna gibba (イボウキクサ)) 30,9 ng/l
成長速度; ばく露時間: 7 d

12.2 残留性・分解性

生分解性

インダジフラム:
急速な生分解性は認められない

Koc

インダジフラム: Koc: 496

12.3 生体蓄積性

生体蓄積性

インダジフラム: 生物濃縮係数 (BCF) 66
生物濃縮なし

12.4 土壌中の移動性

エスプラネードライトフロアブル

版番号 1/J
102000025126

9/10

改訂日: 2022/08/01
印刷日: 2022/08/01

土壤中の移動性 インダジフラム: 中程度

12.5 PBT および vPvB の評価結果

PBT および vPvB の評価 インダジフラム: 生物濃縮性で有毒な難分解性化学物質 (PBT) とはみなされない。高生物濃縮性で高難分解性化学物質 (vPvB) であるとは考えられていない。

12.6 その他の有害影響

13. 廃棄上の注意

13.1 廃棄物処理方法

廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等産業廃棄物に関する法律、都道府県および市町村の関連条例に従って処理すること。

14. 輸送上の注意

国内規則

鉄道および道路輸送	非該当
指針番号	171
海上輸送	船舶安全法の規制に従う。
航空輸送	航空法の規制に従う。

包装、容器が破損しないように水濡れや乱暴な取扱いを避ける。

IMDG

14.1 国連番号	3082
14.2 品名 (国連輸送名)	ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N. O. S. (INDAZIFLAM SOLUTION)
14.3 国連分類	9
14.4 容器等級	III
14.5 海洋汚染物質	該当

IATA

14.1 国連番号	3082
14.2 品名 (国連輸送名)	ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N. O. S. (INDAZIFLAM SOLUTION)
14.3 国連分類	9
14.4 容器等級	III
14.5 環境危険有害性マーク	該当

15. 適用法令

15.1 物質または混合物に固有の安全、健康および環境に関する規則/法律

エスプラネードライトフロアブル

版番号 1/J
102000025126

10/10

改訂日: 2022/08/01

印刷日: 2022/08/01

農薬取締法

登録番号 : 24259 (Bayer CropScience K.K.)

消防法

非該当

労働安全衛生法

非該当

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR)

非該当

16. その他の情報

1. 本資料の記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、記載内容は新しい知見により改訂されることがあります。

2. 記載の注意事項は通常の取扱いを対象とした参考情報です。取扱いの際は用途・用法に適した安全対策を実施して下さい。

3. 本資料は情報提供の目的のために作成されたものであり、その記載内容を保証するものではありません。

中毒の緊急問い合わせ先 : 公益財団法人 日本中毒情報センター (事故に伴い、急性中毒の恐れがある場合に限る)

中毒110番 一般市民向け相談電話 医療機関専用有料電話
(情報提供料: 無料) (情報提供料: 一件2,000円)

大阪 (365日、24時間対応) 072-727-2499 072-726-9923

つくば (365日、9時~21時対応) 029-852-9999 029-851-9999

医療機関の方が一般市民用電話を使用した場合も、情報料1件につき2,000円を徴収します。

改訂理由:

以下の改訂: 第2項: 危険有害性物質の要約 第3項: 組成及び成分情報
第8項: ばく露防止及び保護措置 第11項: STOT (特定標的臓器毒性) およびCMR (発がん性、変異原性および生殖毒性) に関する毒性情報。 第16項: その他の情報

最も最近の版以降の変更は、余白に特記してあります。この版は、これまでの全ての版に代わるものです。